

ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」対策の徹底 ー基腐病対策は健全苗の確保からー

1 種いも伏せ込み育苗(種いもを用いた育苗)

種いもは、蒸熱消毒等を行った**健全ないも**を使用しましょう！

(1) 温度

- ・ 種いもの伏せ込み直後から萌芽までの床温は28～33℃
- ・ 萌芽後の気温は昼間25～30℃、夜間15℃

※ 苗床の低温は、種いも腐敗の原因となるので注意

(2) ポリマルチの除去

- ・ 種いもが萌芽し始めたら、日焼けを起こしやすいので、ポリマルチに穴をあけて芽を出し、萌芽揃い後は直ちに除去

(3) かん水

- ・ 床面が乾かないように、温暖な日の午前中にかん水

(4) 異常株の抜き取り

- ・ 異常が見られる株は、種いもごと抜き取り処分(萌芽せず腐敗した種いもも同様)

栽培ほ場で様々な対策を講じて、**感染苗を持ち込むと、その効果は十分に現れません。**
健全苗の生産は、防除対策の基本です！



種いもを伏せ込み、十分にかん水

ポリマルチで覆い地温確保、保水

1～2月の伏込みはハウス＋トンネル

2 バイオ苗育苗(茎頂培養苗育苗)

(1) 温度

- ・ 気温は、昼間30℃、夜間20℃を目安に管理

(2) 定植とかん水

- ・ 挿し苗増殖用の苗は、下2節を育苗床に挿し定植
- ・ 床土が乾かないように、温暖な日の午前中にかん水

基腐病に弱い品種から**強い品種に変更**すると、発生の軽減が期待できます！
収穫時に腐敗いもの割合が1割以上あったほ場は、連作を避け、他の作物を作付けしましょう！

3 基腐病抵抗性品種の導入

※県農業開発総合センター「普及に移す研究成果」より

抵抗性	原料用	加工用	青果用
強	こないしん		べにひなた、種子島ゴールド
やや強	みちしずく、ジョイホワイト	べにまさり、	ベニハヤト
中	シロユタカ		
やや弱	コガネセンガン		ベニサツマ、べにはるか
	シロサツマ、こなみずき	高系14号、アヤムラサキ	種子島ろまん
弱	ダイチノユメ		安納紅、安納こがね

ご不明な点がございましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム（事務局：地域振興局・支庁農政普及課）にご連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業(01020C)」戦略的スマート農業技術等の開発・改良(SA2-102N)」の成果を活用しました。